

## 「女子大学連携ネットワーク」第4回ミーティング報告

2022年9月5日（月）に開催された「第4回ミーティング」では、各大学での取組みに繋がるヒントが得られるよう3つのグループセッションを設け、幹事校からの事例紹介をもとに意見交換を行いました。

### セッション1 「女子大学で成長する仕組みづくり～女子大学で伸ばせる力とは～」

- ・若い年代（20代、30代）の方が、「女子大学でよかった」への回答率が高いという調査結果について、若い層は積極的に女子大学を選んでいるのではないかと、男子がいないことをマイナスではなく、ジェンダーの学習ができる、女性の力を発揮できるなどプラスの側面としてとらえているのではないかと。
- ・積極的に女子大学を選んでいることから、期待に沿うカリキュラムを用意すること、カリキュラムの内容が重要である。
- ・「人生を切り拓く力」、「自分の生きたい方向にいく力」を伸ばす講座を開講している。
- ・1年生に対し必修科目として配置することでさまざまな気づきがある、卒業生を招いて話を聴くことで将来へのプランが描ける。
- ・女子大学に対する保守的なイメージを変えるのは難しいかもしれないが、世間のまなざしを変えるために、一つの女子大学ではなく、協働で訴えていくのがよいのではないかと。
- ・女性のキャリアをどのような形で教えていくのか、単なる就職支援で終わらせないで、どのような形で教えていくのか、共学とは違うキャリア支援が難しい。
- ・若手研究者サポートなどは目的がはっきりしているが、多様な学生がいる中で、どのように学生を育てていったらよいのかが難しい。
- ・ジェンダー科目があるほどジェンダー意識が変わっていく。選択必修の枠を作るなど、ジェンダー科目を全学に広げることが重要である。
- ・リーダーシップ教育について、中堅の大学では学生自身が求めているのではないかと。学生の多様性に応じながら対応していく必要がある。

### セッション2 「卒業後の学び直しと絆づくり～卒業生の学びを支援するために～」

- ・キャリアといっても、ゼロから仕事を探す人、管理職としていきたい人、いろいろな考えがある。
- ・これからの大学はリカレント教育のみならず、女性の場合は、家事・育児、有給の取り方、子育てなども支援していかなければならない。
- ・学生のうちから、ワークライフバランスの考え方や、子育てをいかにイメージして伝えていくかが大切である。

### セッション3 「女子学生のためのリスクマネジメント～学生の危機意識をどう育てるか～」

- ・危機管理というのは、大学と学生の協働により成り立つことを学生に理解してもらうことが要なのではないかと。
- ・アルコール・麻薬など日常生活に潜む危険などについて授業科目のなかで教えている。
- ・性犯罪は女子学生にとって最大のリスクの一つで、警察による指導をしてもらい、いかに具体的に身を守るのか、いかに犯罪にあうことを防ぐのかを教えるのが重要。
- ・いかに防ぐかというリスクマネジメントは、学生自身を守るといえることは言うまでもないが、大学組織、そして私たち自身を守ることにも繋がるのではないかと。